



《J-PEAKSシンポジウム2025》



Diversity & Inclusion

〈グローバルWell-being共創社会を実現する異分野融合型総合知による革新的卓越研究大学群の構築〉

弘前大学研究力強化戦略

－ Well-being領域で世界No.1の研究・実証・開発拠点をめざす－

弘前大学長
福田 眞作

2025.08.04

本学の
スローガン

世界に発信し、地域と共に創造する

J-PEAKS
10年後の
VISION

異分野融合型総合知により、革新的な卓越研究大学群を構築、この研究大学群を牽引する中核研究大学としてグローバルWell-being共創社会を実現する。

《革新的な卓越大学群を牽引する中核研究大学》

地域課題を含めた地球規模の課題解決や
社会変革に繋がるイノベーションを創出する
世界的な卓越研究大学群を形成

▶ **Well-being領域で卓越性を発揮**



《グローバルWell-being共創社会の実現》

弘前大学が創り出すWell-being街づくり
モデル(姿)を北東北エリアの研究大学群
から全国、全世界へと発信

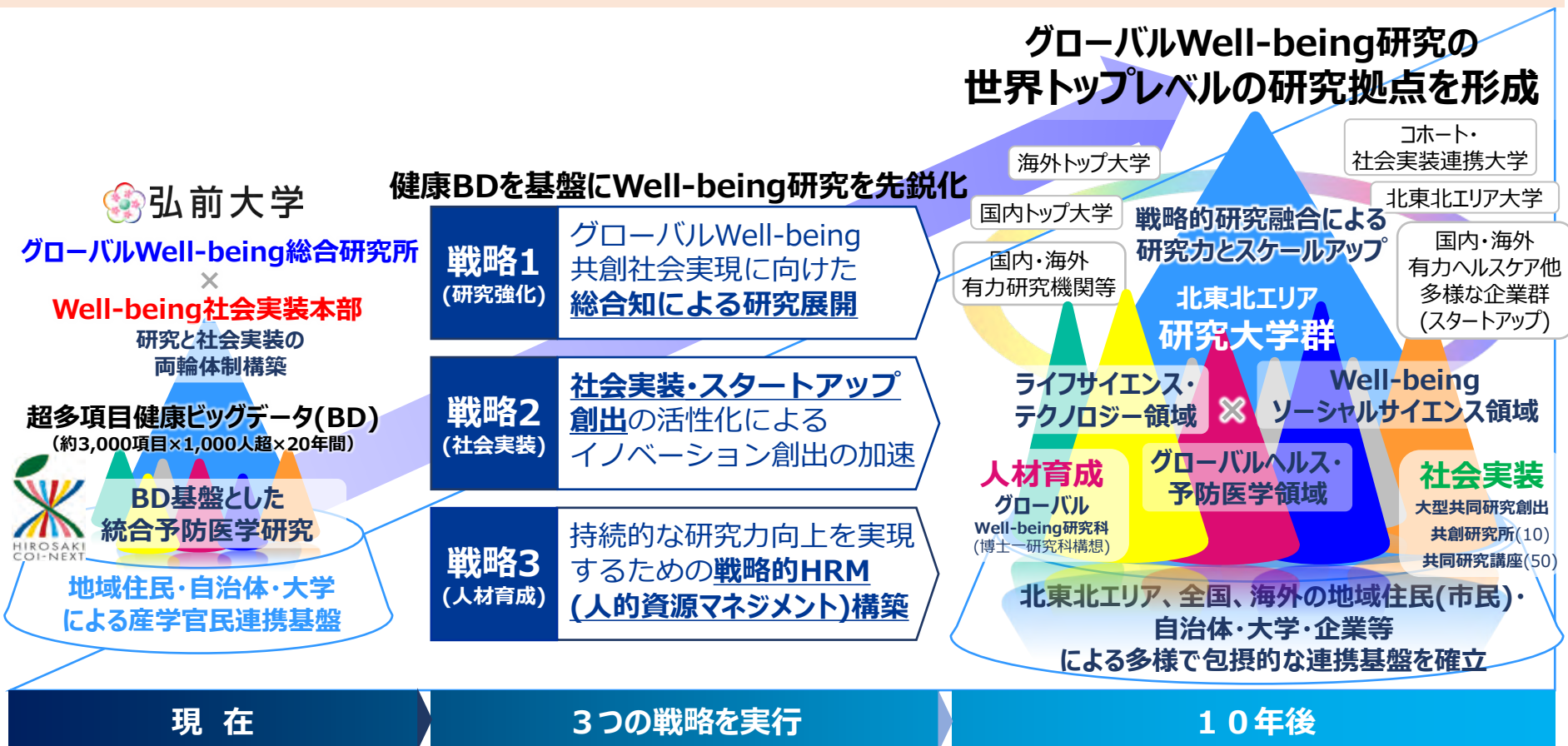


VISION実現に向けた達成プロセス

弘前大学の 強み・特色

- 世界唯一の**超多項目健康ビッグデータ(3000)**による先端予防医学研究
- パブリックヘルス領域主要6分野における**国際共著論文率等では世界水準**
- 多共同研究講座で「組織」対「組織」の**大型産学連携実現(国内トップ水準)**

国内外トップ大学等との**戦略的研究融合・機能補完**による**卓越性の高い研究力強化**、**大胆なガバナンス改革、全学的な大学院改革**を実行し、強み・特色をさらに先鋭化し、世界レベルへと「**伸びしろ**」を最大限に伸長する。



研究力強化に向けた全学・戦略的マネジメント体制

ガバナンス

弘前大学研究力向上戦略実行会議

※学長の強力なリーダーシップによる迅速な意思決定の場(総合司令塔HQ)



企画・運営部会

[全体共通]

先端領域融合研究部会

[戦略1, 戦略3]

- グローバルWell-being共創社会実現に向けた総合知による研究展開(戦略1)
- 持続的な研究力向上を実現する戦略的HRM(戦略3)
- Well-being研究横展開に向けた大学院改革(戦略3)

社会実装戦略強化部会

[戦略2, 戦略3]

- 研究成果の社会実装、スタートアップ創出(戦略2)
- 研究開発マネジメント人材キャリア構築体制の確立(戦略3)
- 学内におけるURA候補人材の育成(戦略3)

研究力

グローバルWell-being総合研究所

総合知・世界レベルによる研究展開の核となる実行組織

研究所長：世界トップレベルの著名サイエンティスト(交渉中)

副所長：副学長(Well-being戦略担当)、医学研究科長

グローバルヘルス・予防医学部門

ライフサイエンス・テクノロジー部門

Well-beingソーシャルサイエンス部門

強み
特色

研究
支援

Well-being社会実装本部

知の価値化・社会実装戦略の核となる実行組織

本部長：副学長(Well-being戦略担当)

副本部長：医学研究科長

本部長補佐：企業研究所長

イノベーション推進室

スタートアップ創出推進室

知的財産戦略マネジメント室



健康を基軸とした経済発展モデルと
全世代アプローチでつくる well-being 地域社会共創拠点
— The Center of Well-being Regional Society Innovation —

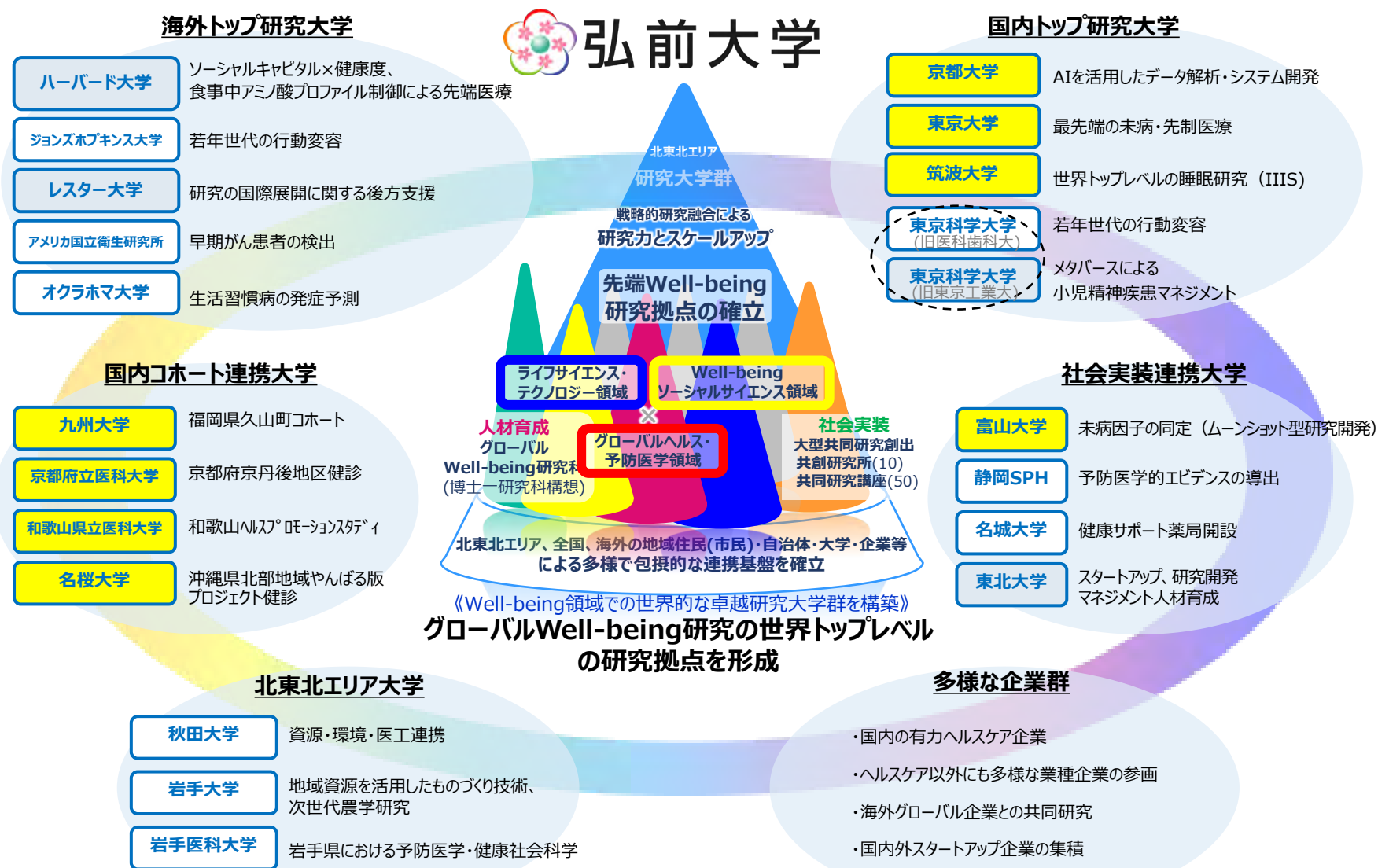
健康未来イノベーション研究機構

25企業共同研究講座等(COI-NEXT参画企業群)

グローバルWell-being総合研究所の組織体制等(1)

《Well-being領域での世界的な卓越研究大学群を構築》

※3重点研究領域を軸とした国内外有力研究大学との戦略的アライアンスを確立



グローバルWell-being総合研究所の組織体制等(2)

《グローバルWell-being総合研究棟》

※グローバルWell-being総合研究所の中核研究拠点施設。研究力向上と社会実装強化をアンダーワンルーフでの産学官連携・共同研究を推進する拠点としての機能

※Well-being社会実装本部の中核機能(人員)を配置し、既存組織との役割(機能)分担を明確した上で、Well-being社会実装戦略のHQ機能を担う

4 グローバルWell-being総合研究所

[グローバルヘルス予防医学部門/Well-beingソーシャルサイエンス部門/ライフサイエンステクノロジー部門]

3 オープンラボ/インキュベータ

- ・共同研究講座・共創研究所や参画大学の研究スペース
- ・産学官金民の共創スペース(コワーキングスペース)

2

健康・医療データサイエンス研究センター

- ・データサーバー室、ハイブリット会議システム等
- ・データ解析チーム及び関連する高度専門URA等が集結
- ・京大共同ラボ/東大共同ラボ

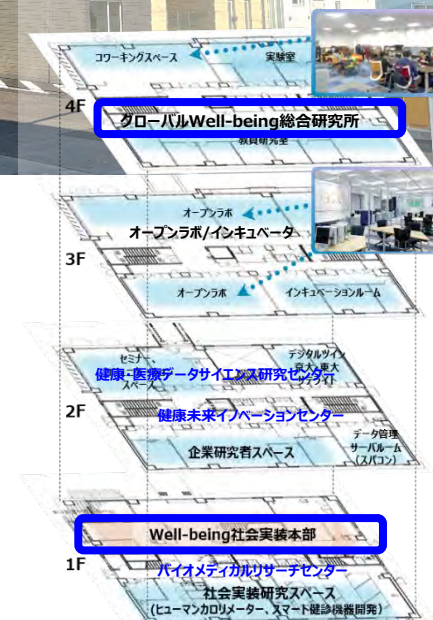
健康未来イノベーションセンター

1

Well-being社会実装本部 社会実装・スマート健診開発スペース

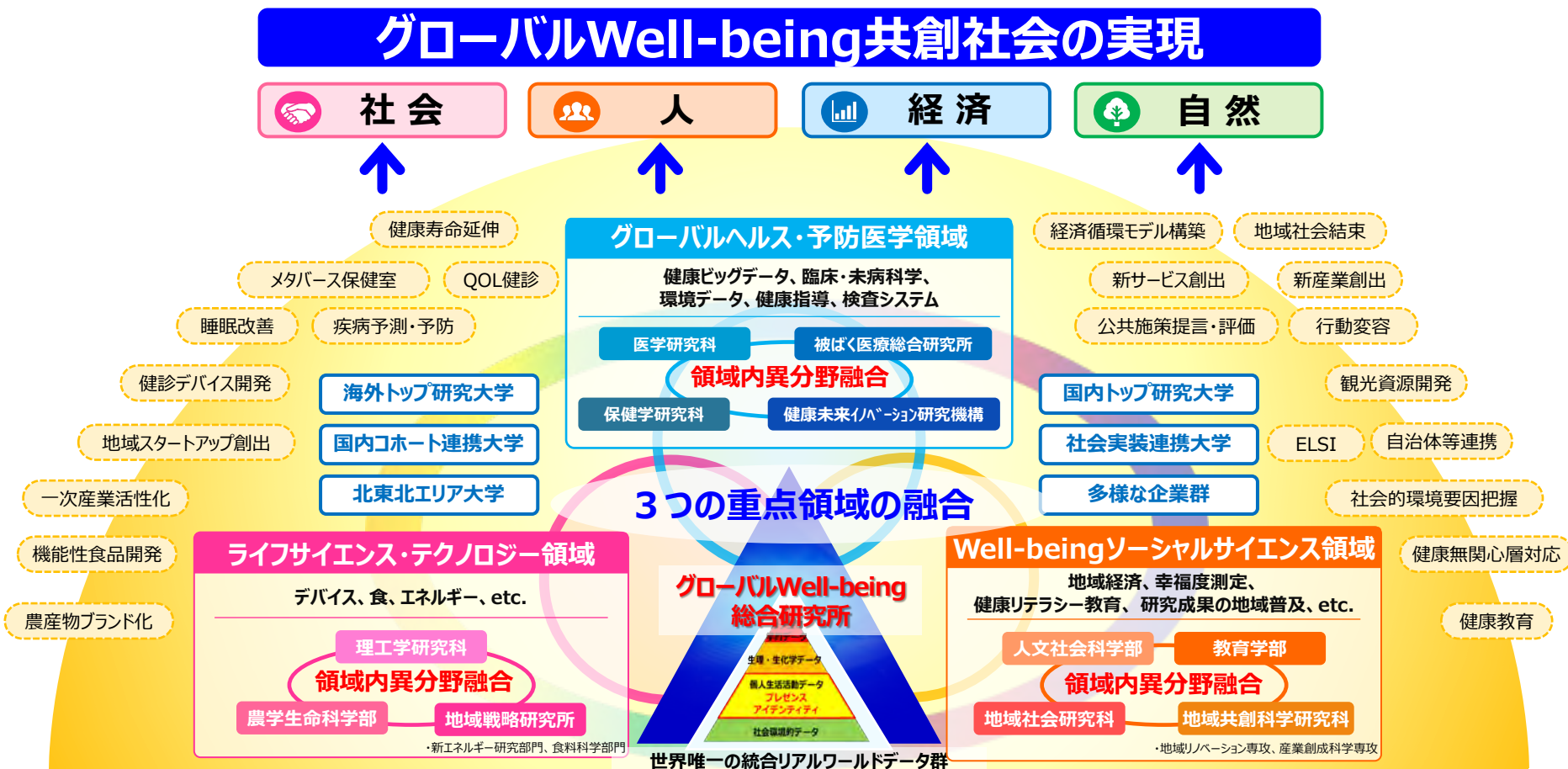
- ・健康ビッグデータの計測スペース等を配置
- ・健康測定デバイスの実地開発・検証環境を構築
- ・市民の健診体験・交流スペース

バイオメディカルリサーチセンター



「異分野融合型総合知」でグローバルWell-being共創社会を実現する

- ・「異分野融合型総合知」とは、「異分野融合」と「総合知」を組み合わせ、さらに広い領域・分野・組織間での連携・融合を意図したもの。
- ・社会が多様化・複雑化する中、我々が有する全領域のリソースや国内外の有力大学等の強みを全て組み合わせることによって、Well-beingという一つの軸の中で、より多様で質の高い研究成果・イノベーションを創出する「知」の基盤を構築し、「知」の活力をより一層高めていこうという考え方。



世界的な先端Well-being研究・実証・開発拠点へ

《『知の価値化』戦略の実行による新領域創成》

〈本学の強みであるコホート研究・健康ビッグデータ(BD)の発展〉



弘前大学グローバル Well-being総合研究棟

グローバルに海外有力企業・スタートアップ(SU)・大学・研究機関等が一大集結

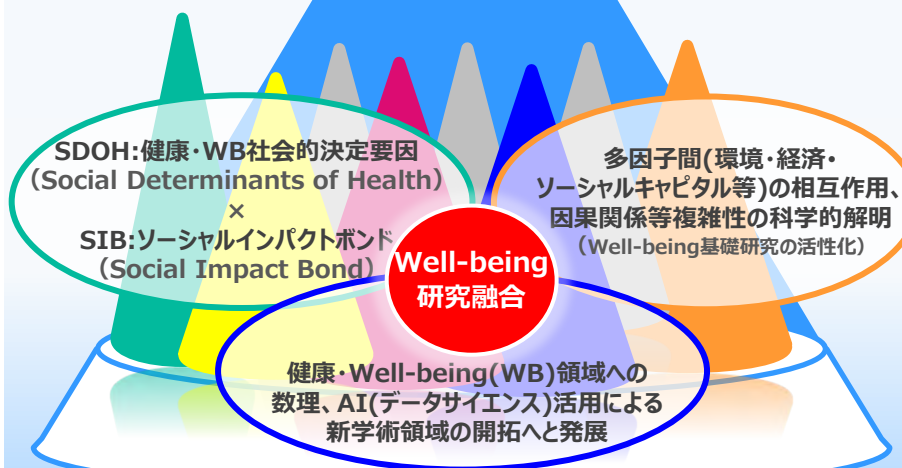


データ収集から解析、利活用、社会実装までを一気通貫かつ
産学官民共創で実現

世界唯一無二の
先端Well-being研究・実証・開発拠点へと発展

Well-beingを基軸とした
次の新しい科学(サイエンス)の開拓へ

統合リアルワールドデータ群(IRWD)を礎とする
Well-being研究の世界的発展(新領域創成)



研究の世界展開に向けた知の価値化戦略

Phase 1 : 次世代医療基盤法の戦略的活用

令和3年度から全国初となる弘前市との連携による次世代医療基盤法の活用をすでに開始しており、今後、**健康BDとレセプトデータなどを段階的に結合**。

Phase 2 : 全国縦断的な多拠点間コホート連携研究の拡張

参画大学(九州大、京都府立医科大、和歌山県立医科大、名桜大(沖縄))とのコホートデータを集約。既にデータの連携・標準化に着手。**全国、全世界への拡張**。

Phase 3 : 医療・介護・福祉・社会・生活・環境等のデータを統合

国保等へのデータベース接続、ソーシャルキャピタル(SC)・居住環境等の多種多様なデータを統合し、**世界唯一の統合リアルワールドデータ群(IRWD)を構築**。

Phase 4 : 世界トップレベル研究大学との融合(国際頭脳循環)

ハーバード大学やジョンズホプキンス大学などの世界トップレベル研究大学との研究融合(国際頭脳循環)の加速によって、**先端Well-being研究における世界初の共通研究基盤(データコモンズ)を形成し、グローバルな求心力を拡大・強化**。

研究開発マネジメント人材の戦略的育成確保戦略

研究開発マネジメント人材(URA等)を学内外から持続的かつ戦略的に育成・確保していくことを目的として、「戦略3:人材育成」において、以下の3つの取組を実施する。

現状

人材
の確保が
困難

全国的な
ニーズの高まり

公募しても
優秀な人材
の応募がない
(地方にこない)

【短期計画】

事務・技術職員からの登用制度

- R7年度中に登用制度を制度設計
- 学内公募・審査を経て、事務・技術職員をURAとして登用
- インセンティブ手当を付与するなど給与制度も整備

将来

優秀な研究開発
マネジメント人材を
持続的に確保

【中期計画】

魅力あるキャリア構築体制の確立

- R7年度にトップキャリアとなる副学長ポストを創設
- R7年度中に「給与・評価・昇進・研修制度」を再設計し、URA人材が将来を見据えて成長することができる魅力あるキャリアパス環境を整備する。
- 学外からの優秀な人材の獲得につなげる。

【長期計画】

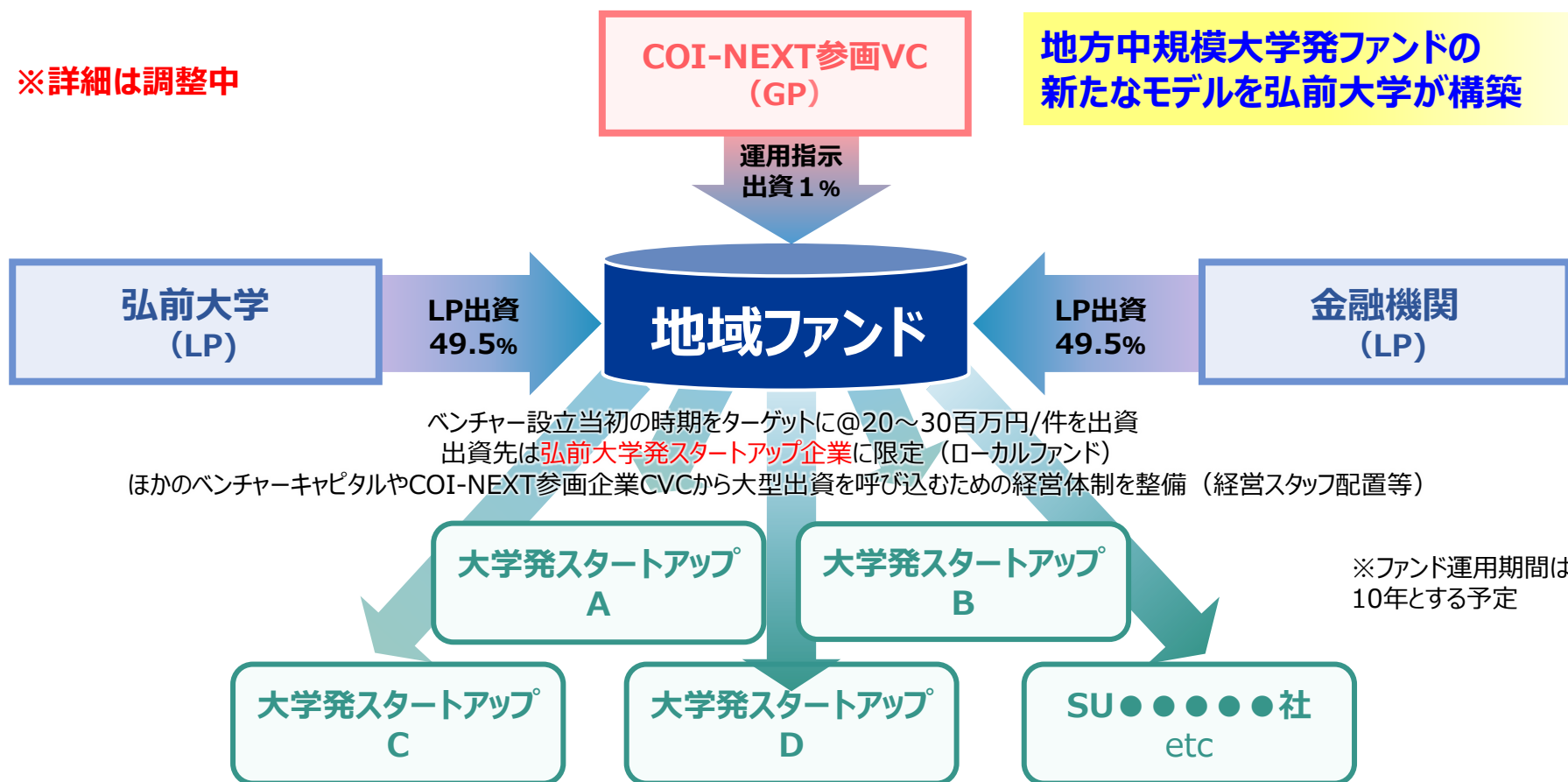
本学の博士後期課程修了者を採用

- 学部・大学院教育において、URA候補人材を育成する教育プログラムを開発・実施する。
- プログラムを受講した博士後期課程修了者を本学URAに優先的に採用する。
- R7年度中にプログラム開発、R8年度に開始する。

地域ファンド創設による弘前大学発スタートアップ創出

- ・COI-NEXTに参画しているベンチャーキャピタルをGP(ゼネラル・パートナー)、本学と地元金融機関をLP (リミテッド・パートナーシップ) とする**地域ファンド**を令和7年度に創設。
- ・スタートアップ企業の**経営を軌道に乗せ、その後に首都圏等から大きな資金を呼び込む流れを生み出す。**
- ・地方では距離的な問題で、はじめから大きな資金を獲得しづらい。この**地域ギャップを埋める**位置づけ。

※詳細は調整中



弘前大学発 スタートアップ企業

大学によるスタートアップ支援を明確化、収入財源の多様化

大胆な大学院改革の実行(一研究科構想)

全学的に修士から博士まで一貫してWell-being教育を行うことができる体制を段階的に整備

- R7年度 医学研究科に「Well-being学際研究コース（博士課程4年）」を新設
- R8年度 全ての修士課程に「Well-being学際研究コース（修士課程2年）」を新設
- R10年度 医学研究科に「Well-being学際研究専攻（博士課程3年）」を新設 ※修士課程からの接続
- 10年後までに、全ての博士課程を発展的に1つの研究科に統合 ⇒ **グローバルWell-being研究科「一研究科構想」**



弘前大学が誇る一大オープンイノベーションプラットフォーム基盤

多種多様な業種の参画企業・研究機関等がリアルにアンダーワンループに集い、活発かつオープンな議論からイノベーション創出

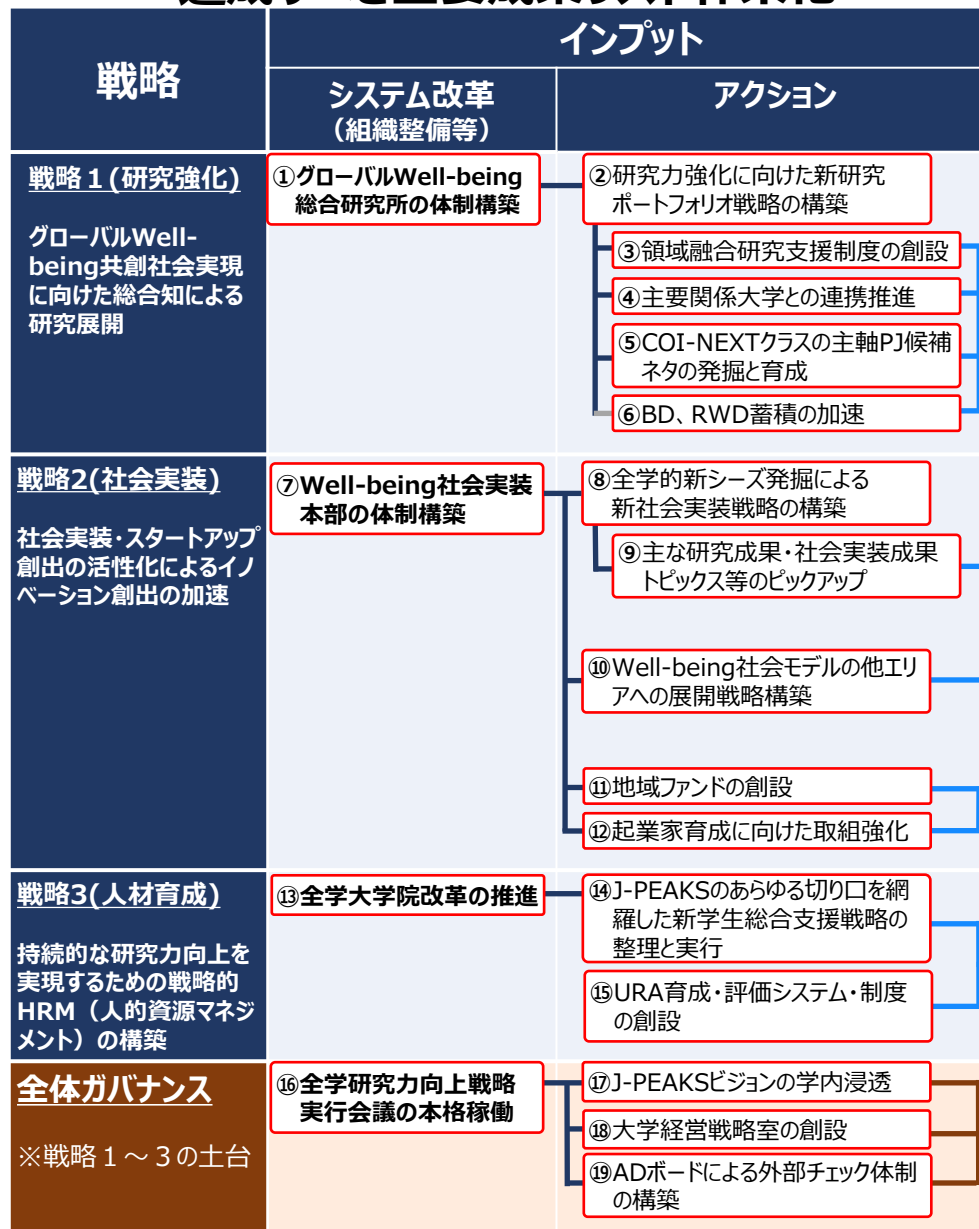


Well-being領域で革新的研究・新事業創出をめざす大学・企業等が全国,全世界から弘前に一大集積(ハブ)

研究力強化戦略の着実な実行に向けた独自のロジックモデル構築

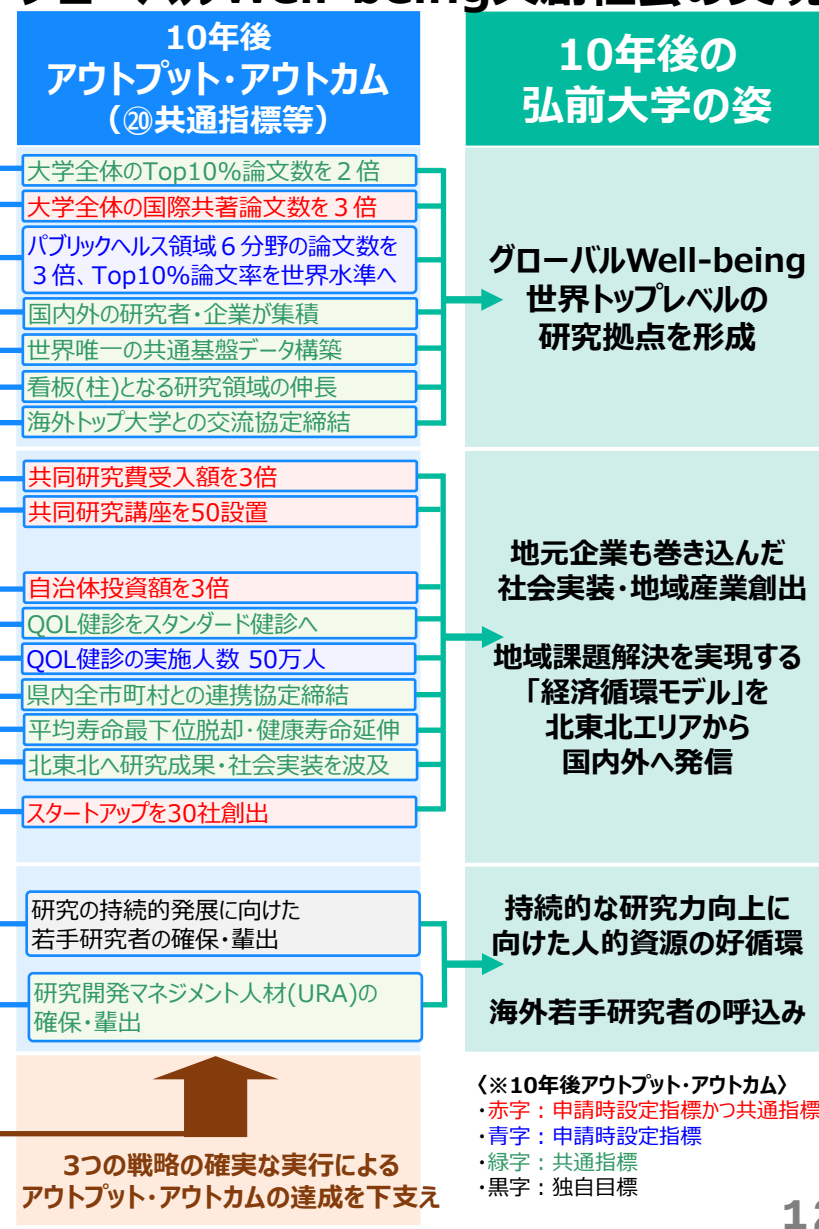
〈J-PEAKS〉

達成すべき主要成果リスト体系化



〈弘前大学将来ビジョン〉

グローバルWell-being共創社会の実現



〈※10年後アウトプット・アウトカム〉
 ・赤字：申請時設定指標かつ共通指標
 ・青字：申請時設定指標
 ・緑字：共通指標
 ・黒字：独自目標